



大正琴あやめの会会長  
のりこ  
**鈴木 紀子**さん

いろいろな大会や演奏会に参加していますが、いつでも皆さんの胸に響くような演奏ができるよう月2回の練習を欠かさずに続けています。ぜひ皆さんにも大正琴の音色を楽しんでいただきたいです。



メール配信サービス登録  
「健康道場」の魅力を紹介します!!

# スマイルライフ

5

## 大正琴あやめの会 (南方)

大正琴あやめの会は、平成7年に公民館活動の一端として行われた「大正琴教室」が始まりで、岩手県「琴星流家元」菅原先生を講師に招き、指導をいただきました。

現在では「大正琴あやめの会」として、15人の会員で月2回の練習を続けています。練習では、昔口ずさんだ懐かしい曲から、最近覚えた新しい曲まで、多くの曲に挑戦し、演奏できるようにみんな励んでいます。

また、市内で開催される各種のイベントにも積極的に参加していて、その都度、大勢の観客の前で演奏する緊張とドキドキ感を味わっています。

### 【問い合わせ】

南方公民館  
☎0220(58)2167

歴史博物館

## 広報ミニ展示室 42 =仙北鉄道駅長用帽子=



鉄道からバスへの変動期時代を知る貴重な資料です。この帽子は、仙北鉄道が廃線となった後統合された「宮城バス株式会社」のもので、昭和43年3月に仙北鉄道がバス路線となった後、しばらくの間、駅舎は残されていました。その間、仙北鉄道の社員たちは、社章を宮城バスの社章に付け替えて勤務していたそうです。この帽子は、中田町にお住まいの仙北鉄道の元職員より寄贈いただいたもので、制服は本社へと回収されたため手元には残っていないようですが、帽子の中央にある社章が仙北鉄道の歴史の流れを語っています。

宮城県（登米市・南三陸町）オールロケ作品  
太宰治誕生100年記念映画

# はこ —パンドラの匣—市民上映会



【上映作品介绍】  
結核を患い、自分は厄介者だとヤケになっていた青年『ひばり』は終戦を機に、父の勧めで「健康道場」に入る。健康道場は、肉体と精神の鍛錬を行うことで結核に打ち勝とうとする団体で、看護師ではなく「助手」がその手伝いをするという施設であった。迫りくる死におびえながらも、病気と闘い、明るく精一杯生きる『ひばり』と、彼を囲むユニークな患者たちとの交歓に加え、2人の美しい助手へ想いに揺れ動く、終戦時代の青春恋愛映画作品。

- ◎日時 平成21年10月27日(火)  
①午後2時～ ②午後6時30分～  
(上映時間1時間30分)
- ◎場所 登米祝祭劇場(大ホール)
- ◎入場料 【前売券】一般 1,000円  
【当日券】一般 1,500円 高校生 1,200円  
中学生・シニア(60歳以上) 1,000円 小人 800円
- ◎販売先 登米祝祭劇場・市内プレイガイド・市内各総合支所
- ◎その他 販売金額の一部は、結核予防協会宮城県支部に寄贈されます。
- ◎問い合わせ 産業経済部商工観光課 観光物産係 ☎0220(34)2734



モバイルとめ  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録  
[tome@entry.mail-dpt.jp](mailto:tome@entry.mail-dpt.jp) (携帯用)